

| 最優秀賞 | | |
|-------|---|-----------|
| 第1分科会 | 今日の戦略的提携の背景～日韓企業における戦略的提携の動向を中心に～ | (郭ゼミナール) |
| 第2分科会 | 新会計基準の導入に見る会計情報の与える影響 | (田中ゼミナール) |
| 第3分科会 | 観光におけるユニバーサルデザインの現状と課題 | (千ゼミナール) |
| 第4分科会 | 地域活性化と観光地づくり～未来への道標～ | (千ゼミナール) |
| 第5分科会 | 福岡の都市観光と交通～九州の玄関口から観光拠点へ～ | (高橋ゼミナール) |
| 優秀賞 | | |
| 第1分科会 | 中小企業の会計～これからの中小企業の会計基準はどうあるべきか～ | (田中ゼミナール) |
| 第2分科会 | auの快進撃～圧倒的なリーダーに対抗するチャレンジャーの有効な競争戦略とは?～ | (松尾ゼミナール) |
| 第3分科会 | ありのまま～島根にみる地域観光の在り方～ | (乾ゼミナール) |
| 第4分科会 | ブランド価値－価値の差からみるブランド価値－ | (松本ゼミナール) |
| 第5分科会 | 中古教科書売買支援システム・リブックスの改善について | (田村ゼミナール) |
| 特別賞 | | |
| 第1分科会 | LOHAS～LOHASなツアーへ～ | (乾ゼミナール) |
| 第2分科会 | 携帯電話事業の買収戦略について－ソフトバンクのボーダフォン買収－ | (後藤ゼミナール) |
| 第3分科会 | ありがとうSHOP袋～SHOP袋の秘密～ | (乾ゼミナール) |
| 第4分科会 | ハウステンボスの挑戦～テーマパークから街へ～ | (高橋ゼミナール) |
| 第5分科会 | 粉飾事件について～カネボウ・ライブドアの事例に基づいて～ | (田中ゼミナール) |

第1分科会

第4回 九州産業大学商学部 グループ研究発表会 審査講評

ANAセールス九州株式会社 高田 和宏

総合評価

テーマが観光・経済問題から社会問題、地域問題からグローバルな各国間の問題等、様々な多種多岐に渡る取り組みが、この研究発表の大きさを感じた。そのテーマには身近な問題が多く、それぞれの研究発表は、新鮮に興味深く捉えることが出来た。さらに発表者一人ひとりの熱意が、将来の活躍を予感させる様な勢いが有った。さらに纏まりの良いチームが多く、一生懸命さが、清々しく思えた。

審査に当たっては、そのテーマが最終発表の内容に大きな影響を与えており、そして制限時間の中で発表される内容が、中途半端な形で終わっていないか、チームワークを大切にしながら、パワーポイントを駆使して、多くの纏まった綺麗な花を咲かせるまで、出来上がっているのかを注視した。審査基準が難しく、テーマの大小が審査結果に影響を及ぼさないように注意し、全体的な大きさではなく整った美しさ、トータルバランス等を考慮して審査の公平さを保つようにした。

「粉飾決算に見る会計士の問題」

テーマの設定、問題定義が明確で有り、過去の事例から問題点の核心、そして改善点への展開が、無駄なく聞き手の興味を最後まで持たせた。レジュメは、箇条書きで起承転結がしっかりとしており、過去の事例3例の問題点のまとめが、現在の法制度では改善できないところへと導き、企業と会計士の日本的なもたれあいに起因する事が核心に、そして改善点へと無理なく展開できた点が、全体的にスマートな内容で綺麗に纏まっていた。発表の技術・態度に特筆するところは無いが、パワーポイントの出来栄は、分かり易く、駆使されており、発表の説得力を高めたものであった。テーマの設定、レジュメの要点を押さえた簡潔さ、パワーポイントが見易く、総合点ではバランスが良く、また出来栄も素晴らしい。

「新福岡空港は必要か!？」

テーマが身近で、そして誰もが関心を持つ問題でありこの選定は非常に良い。しかし福岡経済に与える影響など、様々な問題とリンクしている事を考慮すれば、この発表はその掘り下げるべき内容が余りに多いので、結論への導き方が単純ではないテーマであった。大きなテーマであるがゆえに、制限時間内に纏める事が、説得力に影響を与えた。レジュメの出来栄は、現状の問題点が時間帯により難点、容量不足が表現してあるが、ここにもっと重点を置き問題点の列記をして充実させれば、次の展開がし易くなり、結論までの道のりが、もっと楽になったものと思える。パワーポイントの出来栄は、データの充実した表現があれば説得力が増したと思える。報告の技術・態度は良く、聞き手にやさしく分かり易く伝わった。

「中小企業の会計～これからの中小企業の会計基準はどうあるべきか～」

テーマが日本の古い会計基準から国際基準への脱却が、中小企業へ適応するのかという論点であるが、問題点からの展開が国際基準を当てはめるならば、大企業との違いのみならず、欧米の中小企業成功例を簡潔に解説する事により、結論への導き方がもっと楽になったのではないかと思えた。レジュメの出来栄は、問題定義から現状報告そして問題点に移行する中、工夫すればもっと分かり易い纏め方になったのではないかと思える。パワーポイントは綺麗にまとめてあってとても理解しやすいものであった。報告の技術・態度もよくチームワークの良さが目立った。

「LOHAS～LOHASなツアーへ～」

健康と環境という身近でありながら、地球規模にまで及ぶ大きなテーマをツアーとからませて問題定義したことは、聞き手のイメージは掴み易く、バランスの取れた研究発表であった事は、特筆したい。レジュメの中のLOHAS度チェックは、初めての人への引き込む手段としては分かり易いものであったが、もう少し突っ込んだ問題定義、現状からの問題点、今後の改善点へとの流れが明確であれば、もっとより良いものとなった。パワーポイントの出来栄は軽やかで理解し易いものであった。あわせて報告の技術・態度も好感の持てるもので、印象の良い研究発表であった。総合的にバランスの取れた、評価の高いものであった。

「今日の戦略的提携の背景～日韓企業における戦略的提携の動向を中心に～」

テーマの着眼点としては面白く、現在の企業動向を知る上でも、貴重な研究発表であった。問題定義から現状レポートそしてまとめに至るところは、分かり易く流れが綺麗である。国境という垣根を越えて、近隣地域としての提携拡大を1次2次と具体例を挙げての発表は聞き手の興味を掻き、非常に楽しいものである。出来れば他の事例も入れて頂きたかったが、制限時間を考慮すればこれ以上は望めないのかもしれない。レジュメは簡潔に要点を押さえてあり、報告も聞き手が理解し易かった。パワーポイントは図や数字などの説得力を増すように工夫があれば、もっと良いものと思える。

「観光業界に新規参入～FreeDVD～」

斬新で独創的なテーマで、展開手法も興味を惹き、説得力のあるものであった。レジュメの出来栄は、問題提起から現状の問題点を明確にして、詳細に列記してあれば、結論への説得力が増した事と思え、改善の余地が有ったと思える。報告の技術・態度は、市中の海外旅行のパンフレットを集めての、従来紙による告知方法がいかに無駄であるかの発表は、説得力があり面白く聞き手の心に十分届いた。しかしインターネットでの販売連動をもう少し掘りさげて、説得力のあるものにしたなら、全体的な印象度がアップしたのではないかと思われる。

おわりに

今回初めて審査委員として参加させて頂き、貴重な経験をさせて頂きました。改めて自分の意見を纏めて人前で報告する事、プレゼンテーションの重要性を痛感し、目が覚めた

ような感覚がありました。そして今、この経験を積んでいる皆さんの将来について、頼もしくも感じています。今後の皆様の活躍をお祈り致しております。有難う御座いました。

第2分科会

第4回商学部グループ研究発表会 審査講評

株式会社住販 二階堂 正憲

1. 総合評価

初めて九州産業大学商学部の学生研究発表会に審査委員として参加させていただきましたが、実に「素晴らしい」発表会でした。発表を担当する学生諸君は、遊び心を失わず難しい壮大なテーマに取り組んだのはいいが、途中でテーマそのものが大きすぎて、自分らの手に負えなくなった様子が随所に見て取れました。また取り纏めた報告が、議論が足りずに中途半端で結論が何処にあるか分からなくなったチームもありました。発表会そのものは発表者の熱意が僅か20分では聴衆者には伝わらなくて、全体的な盛り上がりには欠けていました。プレゼンのスキルはまだまだ稚拙でした。しかし今は、それでいいのです。大切なのは、参加した学生諸君の未知なものに対する飽くなき探究心、燃えるような真摯なやる気！未経験であるが故の奇想天外な発想！無謀で無垢な若さが唯一の武器ともいえる学生諸君の勇気！です。それこそがこの発表会の求めるものだと確信します。だからこそ、その研究というフィールドには大いなる可能性が秘められているように思うのです。心配しなくてもパワーポイントを駆使するテクニックやプレゼンテーションのスキルは、その気さえあれば幾らでも学んで身に付けることが出来るものです。

本当に「素晴らしい」経験を準備していただいた九州産業大学商学部の関係者の方々に心から敬意を表します。

2. 各グループに対するコメント

① 中小製造業のマーケティング戦略のあり方

テーマ選定は商学部の学生らしくてとてもいい！さらにマーケティング戦略の定義・意義を明らかにする。論理的に展開されており最高！ですが実はこの辺で、メンバーの誰かは「ちょっと待って、戦略の定義はこれだけ？」と思ったはず。起承転結のシナリオに囚われすぎて、途中の疑問に立ち止まり全員で喧々諤々議論したようには思えないのは、私だけですか？若者の特権は、固定概念を持たないことです。「え～何で??」と思って「こんなのもあるじゃん！」と提唱する力です。もっともっとフォーカスしてニッチな市